

2012 年度ゼミナール大会プログラム

2012.12.4 Tuesday

+++++各ゼミタイムスケジュール（午前・午後共通）+++++

報告 … 30分

教員コメンテーター … 15分

分科会教員・フロアからの質問… 15分

（特に1～2年生をはじめフロアからの発言を期待します！）

+++++-----+++++

午前 10:00～12:00

第一分科会 201 講義室				
演習（教員）	テーマ	司会	質問	教員 コメンテーター
現代スポーツ論 （奥田）	協働事業を通してマネジメントを実践的に学ぶ -地域ニーズの実態とその活性化を目指して-	社会言語学		南
社会言語学 （西嶋）	金沢市中心街の言語景観	現代スポーツ論		

第二分科会 202 講義室				
演習（教員）	テーマ	司会	質問	教員 コメンテーター
金融制度論 （加藤）	「2013年問題」を巡って -中小企業円滑化法の撤廃と銀行の事業再生支援-	世界経済論		竹島
世界経済論 （正木）	中小企業にとって持続可能な BOP ビジネスとは -グローバル社会における先進国企業の使命-	金融制度論		

第三分科会 203 講義室				
演習（教員）	テーマ	司会	質問	教員 コメンテーター
現代経済理論 （瀬尾）	ユーロ危機の中でケインズとハイエクから学ぶ	ヨーロッパ経済統合論		佐藤（秀）
ヨーロッパ経済統合論 （上條）	スウェーデン・モデルに学ぶ社会保障のゆくえ -日本導入に向けての是非-	現代経済理論		

第四分科会 204 講義室				
演習（教員）	テーマ	司会	質問	教員 コメンテーター
生活経済論 （杉橋）	低所得者層から見た消費税の問題点 -社会保障財源としての是非に着目して-	社会保障論		池下
社会保障論 （横山）	ハウジングプアの克服にむけて	生活経済論		

午後 13:30~16:30

第五分科会 201 講義室				
演習 (教員)	テーマ	司会	質問	教員 コメンテーター
財務会計論 (佐藤清)	東レ -ゆずれない繊維-	経営管理論		白石
経営管理論 (澤田)	パナソニックに見る大企業の凋落と再生の道筋	財務会計論		

第六分科会 202 講義室				
演習 (教員)	テーマ	司会	質問	教員 コメンテーター
国際公共経済論 (吉居)	「善き共同体」の構築に向けて -アメリカン・モデルからの転換 共和主義によるリベラリズムの克服-	国際金融論		村上
国際金融論 (佐藤秀)	アメリカ金融界のデッド・アングル及びASEAN+3 における通貨危機防止策の検討	国際公共経済論		

第七分科会 203 講義室				
演習 (教員)	テーマ	司会	質問	教員 コメンテーター
地域経済論 (佐無田)	震災復興から見る地域経済の担い手 -仙台の農業ビジネスを事例に-	環境経済論		瀬尾
環境経済論 (市原)	再生可能エネルギー導入による地域発展シナリオ -白山市白峰地区屋根雪問題を切り口として-	地方財政論		
地方財政論 (武田)	過疎高齢化の進む自治体における非合併選択の理由 -高知県馬路村の事例を中心に-	地域経済論		

第八分科会 204 講義室				
演習 (教員)	テーマ	司会	質問	教員 コメンテーター
情報科学 (寒河江)	日経ストックリーグの中間報告	経済統計学		鶴田
経済統計学 (星野)	統計分析の実践	情報科学		

参加ゼミの発表要旨

第一分科会

<現代スポーツ論>

学生を含む地域社会は多くの課題やニーズを抱えているという現状において、私たち学生が協働事業を身近な地域の中でマネジメント・実践することで①学生のスキルアップ②地域の活性化という2つの効果の獲得を目指すことを目的とする。

<社会言語学>

私たちの生活空間には言葉があふれている。およそ人が集まるところには多くの看板があり、看板の表記は言語景観を形成する。金沢市内にある様々な看板の表記を比較しながら言語景観形成のメカニズムを明らかにする。

第二分科会

<金融制度論>

2013年3月末で期限を迎える中小企業円滑化法により、中小企業と金融機関が大きな打撃を受けることが懸念されている。そのことを受け、中小企業の経営再建のための手立てを金融機関と第三者機関に注目して検討する。

<世界経済論>

グローバル社会における中小企業にとって持続可能なBOPビジネスとは何かをテーマに、従来の途上国援助に代わるBOPビジネスを扱う。実際にBOPビジネスを行う企業インタビューに加え公的セクターの面からも論じていく。

第三分科会

<現代経済理論>

EUやIMFの対応にもかかわらず、今日までユーロ不安が続くことは、既存の制度が不十分であったことを示唆する。そこで、ケインズとハイエクが提案した既存の制度とは異なる枠組みを参考に問題解決の糸口を探る。

<ヨーロッパ経済統合論>

昨今、日本では社会保障と増税の問題が叫ばれている。問題解決の糸口として我々は「福祉国家」スウェーデンに着目した。当国の制度の概要を日本と比較しながら明らかにし、日本に適用可能なものであるか考察したい。

第四分科会

<生活経済論>

現在議論されている消費増税が中小企業や低所得家計に及ぼす影響を示し、諸外国を参考に、有効な負担軽減手段を考察する。また、消費税を社会保障財源にあてるといふ議論にも触れ、今後の消費税の在り方を検討する。

<社会保障論>

本論文では「ハウジングプア(住まいの貧困)」について実態を分析し、今後の展望や解決策を提案する。また、東日本大震災によって生じた住宅問題も取り上げ、貧困や障がい、高齢、災害など多様な観点から考える。

第五分科会

<財務会計論>

世界有数の織物産地である石川に、繊維事業トップである東しの工場がある。繊維事業から撤退していく企業が増えている中で、なぜ東しが繊維に力を注ぎ続けているのか財務諸表から分析する。

<経営管理論>

日本を代表する企業の一つであるパナソニックについて、社史と現状をはじめ、新事業分野の開拓や海外戦略等分析を行い、その再生の道筋を探るとともに、日本企業が今後発揮すべき競争力の源泉が何かを提起していく。

第六分科会

<国際公共経済論>

現在、リベラリズムに立脚したアメリカン・モデルが世界を席卷している。しかし、リベラリズムは本質的に思想的矛盾を内包しており、世界各国で様々な弊害を発生させている。そこで、共和主義的な思想を取り入れることによってリベラリズムの限界の克服を目指す。

<国際金融論>

国際金融論では、アジア・アメリカの金融システムについて研究を行った。アジアについては ASEAN+3 における共通通貨創出プロセスの検討、アメリカについてはボルカー・ルールを中心に金融規制を検証した。

第七分科会

<地域経済論>

仙台では震災の被害により、地域で暮らすことが困難な状況にある。このことは被災地に限らず、他の地域でも同じような課題を抱えている。この課題を解決するための地域経済の担い手を農業ビジネスを通じて論じる。

<環境経済論>

環境経済論ゼミは、白山市白峰地区の屋根雪融雪にかかる費用が地域住民の経済的負担になっているため、コミュニティビジネスと再生可能エネルギーを導入することにより望める負担の軽減と経済効果について論ずる。

<地方財政論>

馬路村は過疎高齢化が進む中、非合併を選択し、またゆずの全国ブランド化に成功し、林業・観光業の振興を図ってきた。これらの成功理由や振興策に迫るとともに、今後の村の持続可能性について考えていく。

第八分科会

<情報科学>

私たち情報科学ゼミは、2グループに分かれて今年度の日経S T O C Kリーグへ参加します。今回はその参加レポートの中間報告を行います。内容は「自主テーマによるポートフォリオ学習」です。

<経済統計学>

私達は、2つの変量の関連性を調べる「相関」をテーマに発表をします。各自で関心のあるもののデータを集め、グラフの作成、相関係数の計算、回帰分析等を行いました。その過程でわかったことを発表します。